

令和三年広島県支部秋季（通信）俳句大会成績

令和三年十月二十四日

特別選者

山尾玉藻特選

灯を消して網戸に招く星ひとつ

松田 多朗

天高し女子寮に干す柔道着

山口 美智

流星の音色はきつとバイオリン

栗屋紀佐子

山尾玉藻並選

遠雷や寄りどころなき蔓の先

川口 崇子

灯取虫被爆ドームの灯を打てり

新本 孝子

真夜中のビルの峙つ稲光

濱本美智子

端溪の手に乗る硯洗ひけり

小林 洋子

指名選者（選者五十音順）

飯野幸雄特選

駆け出しの頃のノートを曝しけり

石井 晴治

石橋康徳特選

稲の香の漂ふ中の握り飯

斉藤久美子

石本百合子特選

兵征きし港あまたの海月かな

天野 桃花

大上充子特選

ひらがなの上手に書きし夏便り

野島 杼生

岡田真利子特選

一山の風の芒となりゐたり

西村 文枝

尾熊靖子特選

旅鞆逆さに干して夏惜しむ

三島 敏恵

小田康枝特選

露けしや被爆遺構の馬の骨

岡田 栄子

木村里風子特選

村捨てて詠むふるさとや虫の秋

吉岡 雅文

鈴木厚子特選

秋雨や縁より枢抱へ出す

新治 功

高卯石男特選

天高し女子寮に干す柔道着

山口 美智

田中忠夫特選

ハングルの被爆慰霊碑青時雨

永 伊予人

田村祐巳子特選

磔刑のごとく衣を干し天高し

岡田 暮煙

寺田記代特選

啞へられ声遠ざかるつくつくし

清水 亨

永井由紀子特選

フラインドサッカーの鈴秋高し

杉原美穂子

藤田かよ子特選

観月祭笛の高音に始まりぬ

高橋 努

水口佳子特選

初紅葉風の立ち寄る風の椅子

田中 治子

矢野真緋子特選

村捨てて詠むふるさとや虫の秋

吉岡 雅文

山口美智特選

箒目を洩れし落葉は掃かでおく

ふるもと俊子

山崎英治特選

きちきちを飛ばして進む古墳道

塩田佐喜子

吉原文音特選

ケルンに石積み「只今」と山男

尾熊 靖子

互選高得点句（上位十八名）

34点 天高し女子寮に干す柔道着

山口 美智

28点 村捨てて詠むふるさとや虫の秋

吉岡 雅文

20点 産近き牛の目赤し秋驟雨

黒田 智彦

18点 一山の風の芒となりみたり

西村 文枝

16点 朝霧に滲みてみたり牛舎の灯

藤谷 知子

- | | | |
|-------|----------------|-------|
| 1 5 点 | 秋日和どこにも行かぬ靴を干す | 浜井 育子 |
| 1 5 点 | 天の川なだれて真夜の白馬村 | 児玉 明子 |
| 1 4 点 | 帰りたい母の一言秋燕 | 瀬崎 栄子 |
| 1 4 点 | 百歳の「異国の丘」や菊膾 | 大久保信子 |
| 1 4 点 | 小鳥来る記紀の世よりの御神木 | 矢野真緋子 |
| 1 4 点 | 分校は村の高台野菊晴 | 林 暁子 |
| 1 3 点 | 稲の香の漂ふ中の握り飯 | 斉藤久美子 |
| 1 3 点 | 広縁に座布団二つ月を待つ | 殿村 礼子 |
| 1 2 点 | 旅鞆逆さに干して夏惜しむ | 三島 敏恵 |
| 1 2 点 | 近況のさりげなき嘘月涼し | 藤田かよ子 |
| 1 2 点 | 直立の背筋八月十五日 | 陰山 秋枝 |
| 1 2 点 | 露けしや被爆遺構の馬の骨 | 岡田 栄子 |